



京都大学東京オフィス（新丸の内ビルディング 10階）にて毎月開催

第122回京都大学丸の内セミナー

参加無料

現地・オンライン同時開催！



利己性の進化が維持する生物多様性

令和4年8月5日（金）

18:00～19:30

講演者：小林 和也

（フィールド科学教育研究センター 准教授）

ダーウィンの進化論というどのようなイメージをお持ちでしょうか？
恐竜の生き残りが鳥になったとか、ネズミのような祖先からサルが進化してきたといった例を思い浮かべるかもしれません。あるいは最近の感染症流行のニュースから、新たな変異株の進化といったフレーズを聞いているかもしれません。

「進化」は身近なところでもよく耳にするフレーズではありますが、一方でそのメカニズムはしばしば誤解され、様々な生物現象に間違った結論が付されてしまっているのを見かけます。

本講演では、進化の基本的なメカニズムを解説し、進化が生物多様性を維持するメカニズムとして機能している可能性についてご紹介します。

性比の進化理論

沢山種子を作る株



沢山花粉を作る株



どちらが増えやすいでしょうか？

植物の種間競争

生産性の高い種



生産性の低い種



どちらが生き残りやすいでしょうか？



京都大学研究連携基盤

Kyoto University Research Coordination Alliance

受講申込みはこちらから「京都大学研究連携基盤」で検索

<https://www.kurca.kyoto-u.ac.jp/seminar>

京都大学丸の内セミナー 令和4年 開催予定一覧

開催回	日時	講演者 所属	講演タイトル	講演者
第118回	令和4年4月8日(金)	生存圏研究所	木材の経年変化：1000年を経た木材はどうなるのか	松尾 美幸 准教授
第119回	令和4年5月13日(金)	人と社会の未来研究院	わたしたちはどのように嘘をつくのか：不正行為を生み出す脳とこころ	阿部 修士 准教授
第120回	令和4年6月3日(金)	iPS細胞研究所	iPS細胞を用いた再生医療の現状と展望	長船 健二 教授
第121回	令和4年7月1日(金)	生態学研究センター	雄と雌の対立が作り出す植物と花の多様な性	酒井 章子 教授
第122回	令和4年8月5日(金)	フィールド科学教育研究センター	利己性の進化が維持する生物多様性	小林 和也 准教授
第123回	令和4年9月9日(金)	基礎物理学研究所	量子計算と量子暗号	森前 智行 准教授
第124回	令和4年10月7日(金)	野生動物研究センター	知床の海棲哺乳類	三谷 曜子 教授
第125回	令和4年11月4日(金)	学術情報メディアセンター	(未定)	(未定)
第126回	令和4年12月2日(金)	数理解析研究所	(未定)	(未定)

※(未定)については、講演者、講演タイトルが確定次第、研究連携基盤HP(表面参照)にてお知らせいたします。お申込みは各開催日の約3か月前を予定しております。